

# 新型コロナウイルスと地震・風水害などの 複合災害に備えて

近年頻発している地震や風水害などの災害により、避難所に避難しなければならない状況がいつ起こるかわかりません。新型コロナウイルス感染症が収束していない状況で、災害が発生し避難所が開設される場合、「三密（密閉・密集・密接）」の環境が生じやすく、今までどおりに行動すると感染のリスクが高まってしまいます。

そのため、市民の皆さんにお願いしたいのは、一人ひとりが自分の状況を考え、「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、適切な避難行動をとっていただくことです。

災害の発生する前に、平時からの事前準備及び災害時の行動について確認しましょう。

## 災害が起きたらどうすればいいの？ 分散避難ってなに？

市内全域に避難勧告が発令されても、市の避難所に約81,000人の市民全員が避難することはできません。

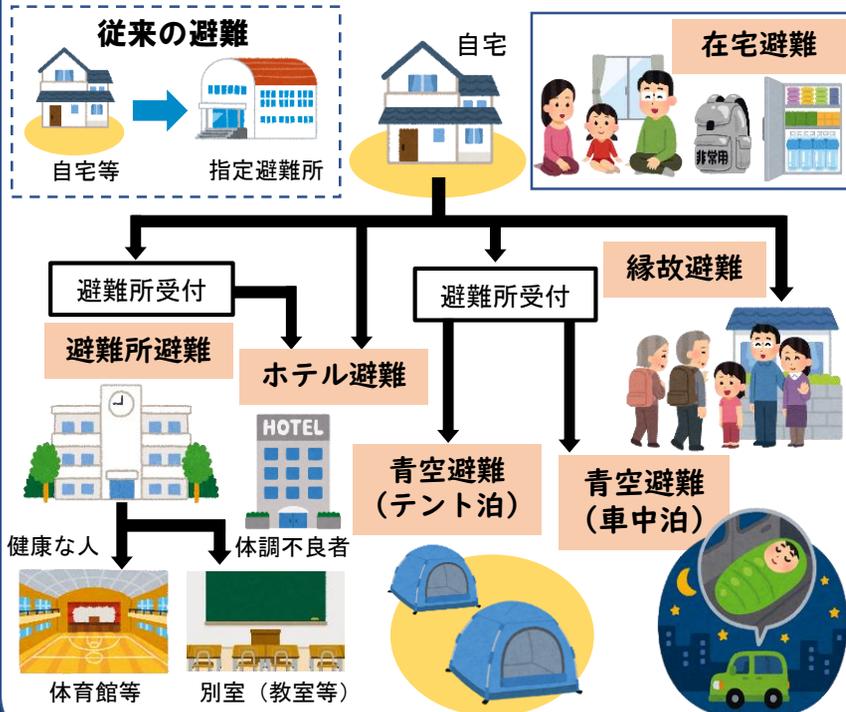
新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げるために有効な分散避難ができる方は、普段から避難の方法を決めておいてください。

どのタイミングで、どこへ、どうやって、誰と避難するか、考えておくことが重要です。

そのため、米沢市では、警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」をできる限り早めに発表して、皆さまに避難を促します。

分散避難とは、自宅の2階、親戚や友人などの家、車で安全な場所で待機、近くにある企業などの頑丈・高い建物など、避難所以外へ避難することをいいます。

## 三密を回避するための多様な避難



## 知っておくべき 5つのポイント

- ① 避難とは「難」を「避ける」こと。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- ② 避難先は、学校や公共施設だけではありません。安全な場所にある親戚や友人宅、地域の集会所に避難することも考えてみましょう。
- ③ 市の備蓄品には限りがありますので、マスク・消毒液・体温計など可能な限りご持参をお願いします。
- ④ 災害時には、全ての避難所が必ず開設されるわけではありません。市から防災無線、緊急速報メール等で情報発信しますので必ず確認してください。
- ⑤ 豪雨時の屋外移動は車も含めて危険です。やむを得ず車中泊をする場合は、周囲の状況を十分確認してください。

# 避難行動判定フロー

事前にチェックして災害時に備えよう！

「自らの命は自らが守る」という意識をもって“自宅の災害リスク”と“とるべき行動”を確認しましょう。

POINT 「避難」とは「難」を「避」けることです。  
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

POINT 避難先は小中学校などの避難場所だけではありません。安全な親戚や知人宅、地域の集会所に避難することも考えてみましょう。

## あなたがとるべき避難行動は？ 避難行動判定フロー

「米沢市防災マップ」は、令和2年4月に全戸配布していますが、こちらのWEBサイトでも確認できます。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/5278.html>

米沢市防災マップ

検索

防災マップで自分の家がどこにあるか確認しましょう

はい

自宅がある場所に色が塗られていますか？

はい

災害の危険があるので、**原則として**自宅以外に避難が必要です

はい

安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？

はい

安全な親戚や知人宅に避難しましょう

いいえ

市が開設する指定緊急避難場所に避難しましょう

例外も  
あります

SNSによる防災情報配信を始めます!!

LINE

はじめました



Twitter

はじめました



避難不要です

7月1日  
運用開始!!

※ 浸水の危険があっても、次の3つ全てを満たす場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- ① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる
- ③ 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧等の備えが十分にある。

※ 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

## Q：災害時にはすべての避難所が開設されるのですか？

指定避難所は、避難勧告等を発令した場合に、指定避難所の中から安全が確保された施設を必要に応じて開設しますが、立地条件等により、地震・水害・土砂災害など災害の種類・規模・状況によっては避難に適さない施設があります。

ご自宅などの最寄りの指定避難所がどの災害に適しているか、あらかじめ防災マップP.9～P.10をご確認いただくようお願いいたします。

なお、避難所の開設情報については、テレビやラジオ、市ホームページ、Facebook、LINE、緊急速報メール、NCVのL字放送など様々な伝達手段を使ってお知らせします。

施設名	洪水	土砂災害	地震
〇〇小学校	×	○	○
△△コミュニティセンター	×	○	×

# 台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

緊急時に確認

## 避難情報のポイント

〈必ず確認してください〉

警戒レベルに応じた避難行動をとりましょう！



避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。



警戒レベル3で〈危険な場所から高齢者などは避難〉、警戒レベル4で〈危険な場所から全員避難※1〉です。

※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。

- 警戒レベル5が出てまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。
- 警戒レベル5災害発生情報は、市区町村が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。



豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう



警戒レベル4には避難勧告や避難指示（緊急）※2がありますが、いずれにしても警戒レベル4で避難しましょう

- 警戒レベル4避難勧告は立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令されるもので、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

※2 警戒レベル4避難指示（緊急）は、必ず発令されるものではなく、地域の状況に応じて緊急的に又は重ねて避難を促す場合などに発令されることがあるものです。

避難するときは何を持って行けばいいの？

# 非常持出品の準備&チェック

いざという時すぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。

避難所にも可能な限り備蓄しますが、感染防止に使うものも含めて自分のものはできるだけ持参するようご協力をお願いします。

避難所に向かう際は、食料・飲料水・その他身の回りで必要なものは自分で持って行くことが基本です。

市でも備蓄していますが、全員分を十分準備できるわけではありません。これまでの持ち物に加え、マスク・消毒液・体温計などもできる限り準備しましょう。

## 避難生活で必要なものの一例 (準備できたらチェック☑!)

食料品	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常用食料 (最低でも3日分) <input type="checkbox"/> ミルク・ほ乳瓶 (乳児がいる場合)
医薬品	<input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 救急用品・常備薬
貴重品	<input type="checkbox"/> 健康保険証・運転免許証 <input type="checkbox"/> 現金
生活用品	<input type="checkbox"/> タオル、ティッシュ <input type="checkbox"/> 衣類・毛布・寝袋・キャンプ用ベッド <input type="checkbox"/> 紙おむつ・おしりふき <input type="checkbox"/> 内履き
避難用品	<input type="checkbox"/> 携帯用ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 予備の電池・携帯電話用充電器

あると便利

プラス  
+

### 新型コロナウイルス感染防止対策

マスク

消毒液

体温計



感染防止のためできる限り準備しましょう

※ 準備したものは、リュックサックなどにひとまとめにして、すぐに持ち出せるようにしましょう。

※ 使用期限切れがないよう、定期的に点検しましょう。

## 避難所内での感染症対策に協力いただきたいこと

### 避難所の数を増やします

市では、1か所の避難所に避難する方の人数を減らすため、災害の種類に応じて避難所の開設箇所を増やす予定です。市は、高齢者や障がい者、乳児、妊産婦

などの要配慮者は健康を害する恐れがあるため、米沢市旅館ホテル組合と協定を締結し、旅館やホテル等の宿泊施設を利用できるようになりました。

### 一人ひとりの感染予防に対する意識が必要です

避難所では、密集した環境下での集団生活により、新型コロナウイルスや他の感染症に感染するリスクも高まります。

新型コロナウイルスが収束する前に避難所を開設した場合、三密(密閉・密集・密接)をできるだけ避けるため、市民の皆さんに次のとおりご協力をお願いします。互いを気遣う思いやりの心をもって生活しましょう。

#### 人との距離を確保

避難所では避難者同士が密集しないように十分なスペース1m以上(できれば2m)を確保できるよう努めます。

また、受付や炊き出し、掲示板の近くなど、人が集まりやすい場所では、できるだけ距離を置くようにご協力をお願いします。

#### 手洗い・咳エチケット・換気

現在も皆さん1人ひとりが行っている感染防止対策がとても大切です。

気温に関わらず定期的に十分な換気をする、断水などの影響がない時はこまめに手洗いをする、咳エチケットを守るなどの基本的な感染症対策の徹底をお願いします。

#### 具合が悪いときは申し出て

発熱や咳、息苦しさ、だるさ(倦怠感)等の症状がある方は可能な限り動線や生活区域を分けます。

避難所に入るときや、避難所で生活しているときに具合の悪い方は必ず申し出てください。

